

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成30年11月28日

和歌山県知事 仁坂 吉伸 殿

提出者

住 所 和歌山県有田郡有田川町庄31

氏 名 和歌山県立こころの医療センター

院長 森田 佳寛

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0737-52-3221

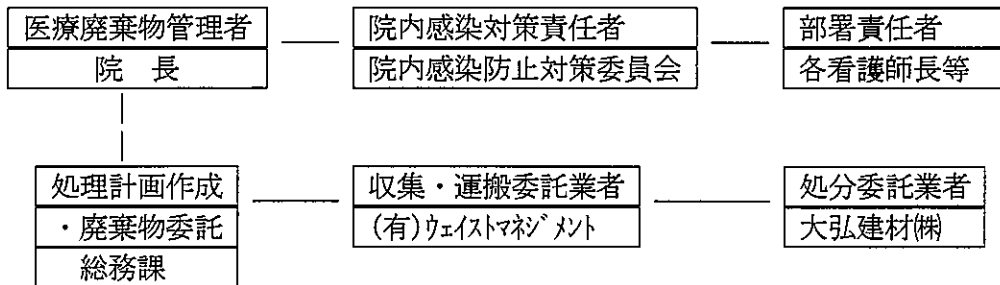
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	和歌山県立こころの医療センター
事業場の所在地	和歌山県有田郡有田川町庄31
計画期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	83 医療業
②事業の規模	病床数300床
③従業員数	170人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[医療行為] --> B[分別] B --> C[感染性廃棄物] C --> D[委託業者 収集・運搬] D --> E[委託業者 中間：焼却 → 最終：埋め立て] F[紙おむつ取替] --> B </pre>

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	—
	排 出 量	86.06 t	— t
	（これまでに実施した取組） ●感染性医療廃棄物 院内感染対策マニュアルで、感染レベルに応じた処分方法を規定し、職員へ周知している。 また、院内感染防止対策委員が各部署への指導を実施している。 ●PCB汚染物 新規の排出はなく、専用容器（鍵付き）で保管していた。		
	【目標】		
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	—
	排 出 量	84.94 t	— t
	（今後実施する予定の取組） ●感染性医療廃棄物 使用済み紙おむつが排出量の大部分を占めるため、発生抑制には困難な面がある。直近1年間をみると1日平均入院患者数が減少傾向とはいえ、長期入院患者の高齢化が進行中である。 排出量の大幅な抑制に関しては厳しい状況であるが、感染予防等を勘案しながら、分別の徹底を図る。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 院内感染対策マニュアルに基づく医療廃棄物の取り扱いを職員に周知し、マニュアルに沿った分別を行うよう注意を促している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） これまでの取り組みを継続し、分別の徹底をはかる。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行わない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 自ら再生利用は行わない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行わない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理は行わない。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋め立て処分又は海洋投入は行わない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋め立て処分又は海洋投入は行わない。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	P C B汚染物
	全処理委託量	84.08 t	0.62 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 感染性医療廃棄物については、県の方針に基づき、医療廃棄物の適正処理のため、平成23年2月より感染の恐れのある使用済み紙おむつを感染性産業廃棄物として処理委託している。また、「和歌山県産業廃棄物の越境移動に関する指導要綱」（平成9年6月16日施行）の規定に基づき、産業廃棄物は県内の中間処理施設で適正処理することとしている。 P C B汚染物については、過去からの保管分を県の一括処理事業により処理委託した。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物	—
	全処理委託量	84.94 t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	これまでの取り組みを継続し、適正な処理委託を行う。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。